

小学生ライフスキルグループの取り組み

新原 ゆり子

フトゥーロでは第1・3土曜日に月2回ライフスキルグループを行っています。グループにより、また参加されるお子さんのタイプによって若干の内容の違いはありますが、メモを取る・電話の取り方・自分の住所が書ける・買い物・公共の交通機関の利用・食事のマナーなどのライフスキルを経験する機会を多くもち、それらのスキルが家庭や学校場面で実践できることを目標としています。今年度の取り組みやお子さんたちの様子をご紹介します。

今年度は「表の記入と読み取り」「買い物ができる」を目標とし、通年で細かな課題を設定して少しずつスキルアップできるような指導を行っています。定規の線引きはアイロンや洗濯と同じく、右手と左手が違う動作を同時に行い、また目と手を協応させるという簡単なようで意外と難しいスキルです。

* 「表の記入と読み取り」

- ①短い線を定規で描ける
- ②表の中の○印が読み取れる
- ③表を定規で書ける
- ④表の項目が書ける

の4段階に分けて指導を進めています。表作りをグループ全体で作成するにはコミュニケーションスキルも必要です。調理の担当表を見て「○の担当は誰ですか？」と聞いたら、1学期の内には表を見てさっと挙手できるようになりました。

2学期は「アンケートをしよう」をテーマに全員で表作りをしています。自由な場面でのことばのやり取りが苦手なお子さんもアンケート（セリフ）では相手に質問できました。個別の時間に練習した定規の線引きを大きな模造紙で実践したいと思っています。出来上がりしましたら、待合室に掲示する予定ですのでご覧になっていただければと思います。

* 「買い物ができる」

- ①お財布の管理ができる
- ②電卓が使える
- ③レシートが読める
- ④おつりの計算ができる
- ⑤お小遣い帳が書ける

の5段階に分けて少しずつステップアップしていきます。フェスティバルやクリスマス会に向けて買い物をするために、1人ひとりがマイ貯金箱を持ち、お金を管理する経験を積み重ねていきたいと思っています。

* スタディスキル全般 ～聞く・話す～

「聞く・話す」力の向上としては、3ヒントを宿題で作ってきてみんなに披露しました。お家の方も協力してお題を考えてくれたお子さんもいました。キャンプのカレー作りで「ルーを入れるから来てね」を伝言ゲームで行いました。「何て言われたか忘れちゃったよ」と言うお子さんには「(前に言った人に) SOS言葉で聞いてきてね」と再挑戦してもらいました。

さて7月末のキャンプを経てお子さん同士がとても仲良しになりました。遅刻してきた子に対し「A君遅いな。どうしたのかな」と他の子達が言っているのを見て仲間を大切に思う気持ちが育っているのを感じました。2学期になり簡単なゲームのルールや得点決めの相談の場面で、自分の案を提案する人が多くなり、話し合いが活発になってきました。

失敗したり、わからないことが多い子ども達は、「うまくいった」「わかった」「自分で解決できた」という経験が少なくなりがちです。子ども達ができたと実感できるような、そして何よりも面白い、みんなに会いたいと思えるようなグループでありたいと思っています。